
『ミエナイモノ』

水綽 架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『ミエナイモノ』

【Nコード】

N9321C

【作者名】

水綽 架

【あらすじ】

初めてなので、意見を下さってくれば嬉しいです。

『ミエナイモノ』

・ 静寂・

ひっそりと

誰にも見つからないようにあいつはいる

あいつは静かなところが好きで

あいつは騒がしいところが嫌いで

あいつは

君の隣にいたりして

自由に移動して

何処にでもいて

それが静寂

静かに佇み

誰かに危害を加えることもなければ

誰かに危害を食らわれることもない

急に静かになって

かすかに風が頬を撫でたのなら

それは静寂

・心・

憎い

あいつが憎い

いつその事死ねばいいのに

消えろ

ここから

この町から消えろ

何処か遠く

お前のような奴ばかりいる町へ

憎い

あいつは憎い

一目合ったときからわかった

そのくつきりとした目
すつと伸びた鼻

柔らかい唇

一目合った時にわかった

嫉妬に似た感情

・心、2・

遣る瀬無い

あいつは間違っている

でも

あいつには仲間がいて

俺にはいない

孤独

孤独

孤独

こんなに寂しいものだったなんて

こんなに苦しいものだったなんて

こんなに孤独だったなんて

あいつには仲間がいて

俺には一人もいなかったりして

そんな俺はあいつを少し尊敬な眼差しで見てしまい
それであいつのことが遣る瀬無く思い

そこで俺が孤独だと知ったりして

そこで俺は孤独を感じたりして

そこで俺は

自分がここまで孤独だったことを悟ったりして

寂しい

苦しい

何で俺がこんなに孤独なんだ

何で
何で
何で
何で

なんであいつは孤独じゃないんだ

何で
何で
何で

・願望・

僕には何も無い

全くない

ごめんね

やっぱり君にあげられるような物がないんだよ

僕が持つ資格があるものがこの世界には落ちてない

僕が持っていていい願いもない

どうせ叶わないんだから
持つ意味がないんだよ

君はまだ幼く

君は自信に溢れていて

君は

僕とは正反対で

せめて君は

君だけは

僕のようにならないでくれ

僕は君にあげる物はないけれど

せめてもの願い

君は頑張って生きて

君はこの世界にたくさん必要にされていてほしい

それが僕の

たった一つの願い

（後書き）

どうでしたでしょうか？

まだまだ未熟者ですので、間違った言葉の使い方をしているかもしれません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9321c/>

『ミエナイモノ』

2011年1月22日03時04分発行